

5387

横濱新報

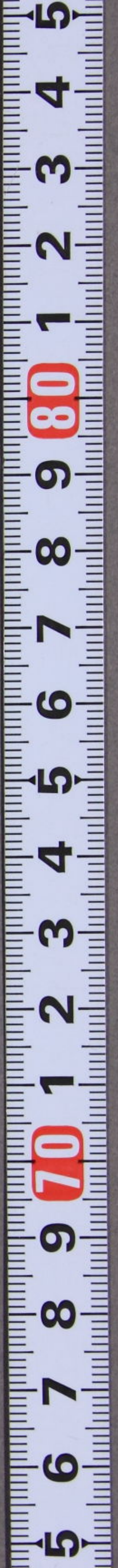
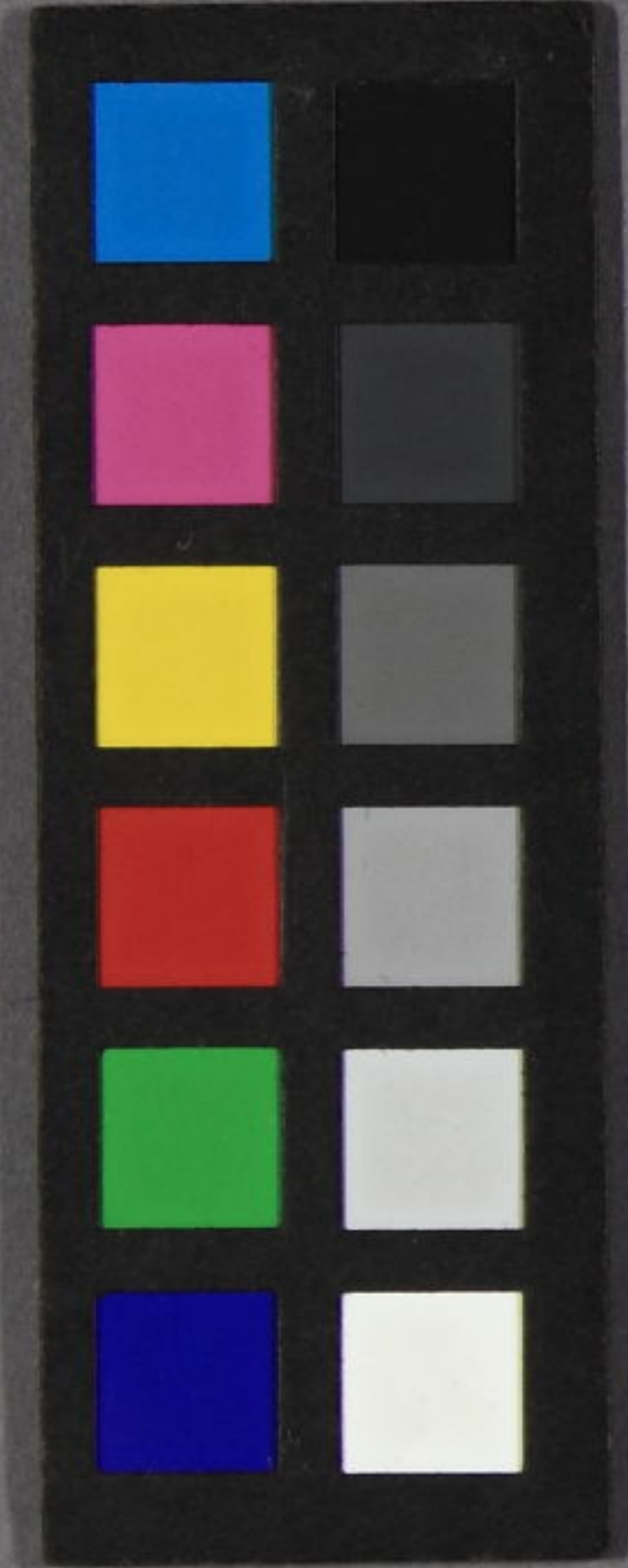
めいほう

第一編

九十三番

ウエンリート

定價壹匁

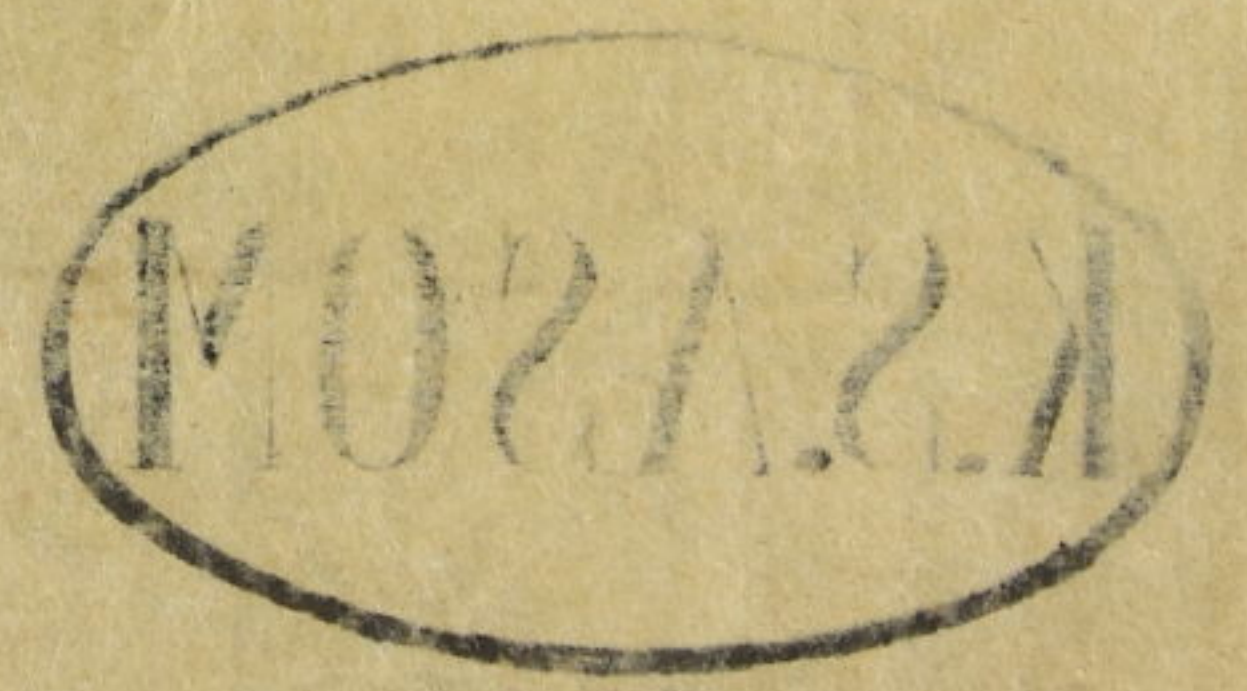


特 文庫 10
7387
1

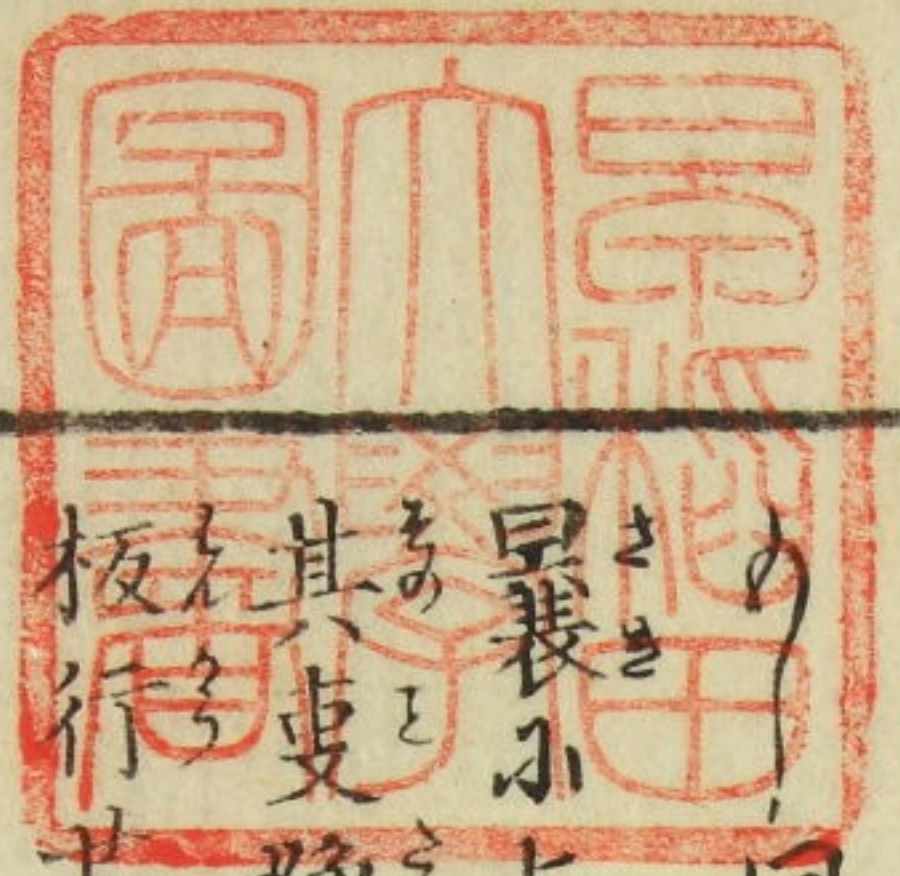
時評實錄

著書

時評實錄



武蔵書院



第一編

慶應四年戊辰閏四月十一日 文庫

さき 曩なほハヒコサウの新聞誌ありしがかの入あち此地こちを去さリ一のちハ久く
ま其その斐ひ絶たつる一いつの去年正月我友人ベリイべりい萬國新聞ばんこくしんぶん命めいを
ま板行ばんぎやうせしがこれハ第十篇迄出板しちゅうばんしてやぬ余よ深くこのことを
あ考かうしてありて今いま新聞紙しんぶんのちなるが有益うたげのめあて今いまハ世界中せかいぢゆう
が文明ぶんめいの國くにありてこれハ國くにのありて然しかハ日本にっぽんもその中なかの事ことを
あらんハ行いひまざるゆゑハ蓋はたし新聞紙しんぶんの世よハ益えきある事を志こころす
のめまくる事こととこれを篇集へんしふする人のこころこころづき學者がくしやぶつてむじし
し支那文字しなぶん中ちゆうの事ことを文ぶんを用もちゆる事ことと且かつハ出板しゅばんのめを
なりて時ときあらま乃すなはちぬづき一いつの事ことを評ひやうせりまのせるとこふと
しなり

手紙

成るべし余が此度の新聞紙ハ日本國內の時々のよりさるゝ勿論
アメリカ。フランス。イギリス。支那の上海香港より來る新報ハ即日
翻譯して出さるべし且月の内ハ十度の餘も出版さるべしを以て
諸色の相場をばどめ世間の奇事珍談あるべき事事をか
めせる事ありしやと確實なる説を探りてめて決して浮説を
のせばとひねるもくハ諸君めおろく此新報を買玉らんや
○アメリカのワシントン。イギリスのロンドン。フランスのパリス其外
諸國の綴系華なる地めくハ新聞紙を出版せる處甚多し
日く出版せる家も、つり二日め三日めに出版せるもありて一年
内出版の數幾億方といふとある處ろくざるなり近來開け

たるハワイにてハ五六年前ちハ島人大抵文字を考ふる
しに近日ハ追々に進んで人々文明小進、毎朝新聞紙を出
板せる事七千枚に至るといふ支那は、近來香港上海を
漢文の新報を發行す大抵毎月二万四千枚を賣出さるといふ
是ハ皆新聞紙を買ふの人前以て週年の價金を枚元へ渡置
出版さる新聞紙館より考ふる文明の國、綴系華の地、あて如此新聞
紙のさるに流行するといハ千里の外ハ奇談珍説坐るはを見聞し、
門を不出しと諸方の物價を考へ人の智識を考へ心志をたのしめ、又ハ
商賈の便利を得るると、其益ある事甚かむが、あるり余是故日本
の新聞紙の盛は流行せん事を願ふ也
九十三番
ウエンリート

昨日信州より帰りたる商人めをたうしに四月廿二日北部の
會津の兵、水戸、衆名の兵をひきあて信州の松代をふり
かこむ、城主をたごとのけあひおあびし、三百年來徳川將
軍に屬し其恩を蒙りて此度俄に南方の臣
下を屬せしへ何事をやあひふ南方の天子を挾で權威を
振ふおあそきてあつるべしをかくらるをあつるあて北部の力
を合せを舊領安堵たるべしめし、さあく徳川家よりあて
あきたる御墨附をかくせとて嚴しくうけあひ居りしを
現在に見聞し、てきさねりしを其後つづなるじりあ北部
の兵卒のつふあ、松代をうまく説伏たるを夫より尾張へ

兵をさしむけ勢に乘りて京地の攻めんと志也とて猶
委しきさげし求め、此次に出まべし會津より三越を説
伏し、皆此策を用ゐるとをん、扱其人をすあめ、關を通
しがあつらどめたる者四人をふき、つて關守をむひし
ひやうとねり、美濃の國大垣のりのたるが廿二日に宇都宮
の軍、あうちまけて馬物具をよま、たれとられ、辛うとこれまを
あげのびて、ゆい、此關をば通させ、たあ、切手をばりあひ、ひと
ごう、まひあ、まうて居り、白紙をよま、一枚を着て上ふ、ごご
いふのを引あ、ひ、さ、あ、り、ごご
○下總のふごご、の原、あ、屯集せし、北部、兵、皆、江戸、は

浪人あり植村某といふ人を使者として四月廿七日南方の陣中へかけあひし遺ハせしに南軍より鉄砲めて打殺し引続て両軍より砲發あひつゝおふ合戦となりしに南方の兵敗走めより風聞あり南兵ハ彦根藤堂ありぞあり

閏四月三日舟橋合戦之事

徳川家旗下の七江戸をたもたき安房上總の邊ハ集居し如何の評議ハ決したるより四月廿二日のころ五百人もの勢ハ日光山へとこころをてあし出しける途中舟橋驛ハ水居る上方勢より兼く八幡市川邊を固居し使者を以て速ハ降参せしむべきなりとかけあひおふに關

東方より衆議の上返答ハ可及の間兩三日ハ待下さるべしといひのこしし閏四月朔日衆議ハ決の間ツゞく一戦ハ手なきの趣使者を以ていひ入ししに上方勢より兩日ひめとツひ出ししより同三日の曉天ハ關東方先手下總佐倉の城主堀田備中守上總久留里の城主黒田豊前守并徳川旗下の人惣勢三千餘人をして押出しし山あせめ小高處より志きりハ大砲を打つけ關をぶろとあけてかきよせたりしに上方勢ハいよご夜中の夢めて眠り居る處をまはひとさきよき得ば備前藤堂をもちめ我さじふとめけ出ししちりくおありて敗走ししよりたればツゞく一時をりめて更をさるりぬ關東

方手疵てまゆをかひ一者只三人めこ上方勢死人凡三百八十人とぞ
同日四ツ時ごろ堀田の兵士たうとそ五十人むりある農家のうかに
立よりつらく濁ろしより水ぬても茶ぬてもあまひられよとあつこ
けとばつてちやをせんドてまふもせなる各血刀をひッさけ鉄砲てつぱうを
めち中ちゆうの切首きりびをたぐきあつも有ありかかひくそふあまうて半
時むりも休息きゆうしし居いるふ市川ぬく只今合戦最中たうりこ
きこ又舟橋ぬもたうひありとそえて黒畑くろはたさるふぬこちのほり
是ハ打散うちちされたる上う方勢たうてひ人數をまとめて押返おしかへたり
とめめらそいざ人々走むらうて一動いちどうして高名せんたうといふこ
まんで爰こゝを立た出だ市川いちがわの方かたぬむらひれいとそ是ハ昨日四日行徳ゆきとくの

さる方よりまはあつり見聞けんぶんしつる趣おもむを報來ほうらいきたるたうり同日
九ツ時くに死し行徳ゆきとくふ居いるじ筑前黒田の兵三百人むりあつこ
八幡やまはたをさうして操出そうだしつる勝敗しょうぱいハつまづつあびどのあつた尚又
今朝の風聞かぜきぬ八幡やまはたの合戦がせんぬも上う方勢かたあつひふ敗走ばいそうし松戸驛しょうと
をさうそ落行らくかうしとぞ江戸よりも援兵えんぺいとして九州勢千七百人
むりもせむらひけれぬも利根川とねがわのて多おほふ陣じんを取一人も川をさ
らふ只關東勢と川を隔へてありとあひて居るより是ハ深川邊ふかがわ
のさるものぢ死しの士昨四日市川邊迄見物けんぶつふ往ゆりしが歸かへりきま
てめめらうたうり叔おや市川いちがわ舟橋ふねはし八幡やまはたの驛やき人ひと家や不残ふざんぬと
たりとまん

○このたび王政復古のつぎ舊弊を一洗あせらるるの趣を聞
つれどもせしめ各國の士商にも目を括ひ足をそぐそく
新令のいづらとせしめたるなり定めて舊來の汚習を掃
清し文明なる法律を下しおふべし舊政府の法律は拘束
おろして不便利なる吏のみを好んで何事によぶたすく整
吏をせよとせしめ風の風はこれおふらて奸吏時を得く
みづりに暴威を振ひ種々の惡計を設て商賈をこまらせ以て
自富の謀をなせり此等の吏をぬらむべしに至りあり早く此
弊を一洗して公明正大なる古の王政を復しむる萬事簡便
ふしを差支なく貿易の出入日に盛んおなすば萬國の士商

つらとひ來りて歲月を経る小富強の國とならん吏時立
してま川べし
戸部の裁判所お目安箱を出して農商どもに民間の疾苦を
速訴へることをゆるしおふらとせしめたるもその簡便る法を
貴びたすふことを知るべし
阿片烟の禁はかつて外國との條約お乘せたるたれども今度
まゝ嚴重の令を下したるは我等の最敬服お堪えざる
処なり阿片はあしけりとの知りおらざる日本おての斯嚴禁に
たるおどのあしき處を能知りたるものもあらざるべし此
故お今らに其大畧を記しおべし阿片は天竺の産する物にて

イギリス人これを買ひ來りて支那の諸港へ入りきざぐこりて
毎年五万五千箱づつ一箱に付代洋銀五百枚左ありこの
内の大毒物よりこれと吸へば次第しく精神をそとらしひ色
あをまみ力あたらしくつおふなふどをいするといふをされた
一度此物を吸ふとむねれはあつをほくゆめるるやあふべり
やめる時ハ必速くその毒を吐き出して死せるとを夫故のやう
猿のそらあても携行を吸ふ此物をあつ高直るが
かと相應の身代の人めても段々貧乏になりかゝる病人の
如くゆて十分のそらあつを吐き出されども一日も阿片を吸ふ
ゆへ居らまば家財衣服を賣盡し後あつをすめをうて田

地も家も賣て一庄の烟となすりの支那人あつあるの
知らまぬほどあり人を救ふ事を説たあつ釋迦如來の
本國より人を害し國を滅び大毒物を生し出さ事誠心
のやむべきなり或友人阿片烟の支那へ入津せし高を記し
たる帳面をよみべしに嘉慶元年より同治七年までの間ハ一億
二十七萬五千箱あり時々直段の高下のあれども此代洋銀幾億
方枚ありし支那國あつた大金を出して是を買ふといふ
其物のたぢまも烟となりてのこるるやあつ其う人命を害
し子孫を絶えしるありされば始めかあどの支那國はては
此吏をふせじとめんらき種々心を勞し嚴禁を立るとせし

このども一度むろまりー後ハ後おふおむことあり近來ふり
てハ此禁まへなるにのみあらば高位の人とも又是を愛するともや
本月四日のれがふイギリス公使パークス并みサトウ浪華
より出帆して同六日午後本港ふりぬり京撰ハともありおご
ふんちるより種々新聞何れも此次ふ出はべー

西垣文庫 特
文庫 10
7387
1